

森から世界を変えるREDD+プラットフォーム 平成29年度拡大実行委員会 ナレッジ分科会

幹事：国立研究開発法人森林研究・整備機構
森林総合研究所

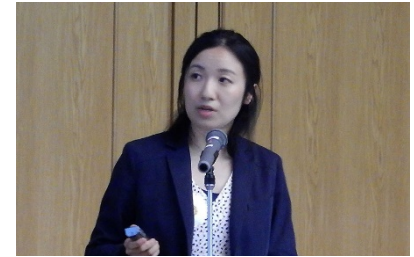


平成29年度ナレッジセミナー

- **6月2日（金）第1回「REDD+関連の国際動向について」**（JICA市ヶ谷ビル国際会議場）

参加者数：73名

- パリ協定やREDDプラスに関する国際交渉の進捗について報告
 - 森林総合研究所 国際連携・気候変動研究拠点 森田香菜子 氏
 - 林野庁 森林整備部計画課 海外林業協力室 大仲幸作 氏



- **7月12日（水）第2回「REDD+と市場メカニズム等に関する勉強会」**（JICA本部110会議室）

参加者数：23名※人数制限あり

- REDDプラスと市場メカニズム（パリ協定6条）等について、より踏み込んだ解説と意見交換
 - 林野庁 森林整備部計画課 海外林業協力室 大仲幸作 氏



平成29年度ナレッジセミナー

● 8月31日 (木)第3回「緑の気候基金 (GCF) の取組みの進捗状況」(JICA市ヶ谷ビル国際会議場)

参加者数：92名

- REDDプラス支援において主要な役割が期待されているGCFの取組みの進捗について、網羅的に報告
 - 環境省 地球環境局 国際連携課国際協力室 東海林珠代氏
 - JICA 気候変動対策室 佐藤一朗 氏
 - 林野庁 森林整備部計画課 海外林業協力室 大仲幸作氏



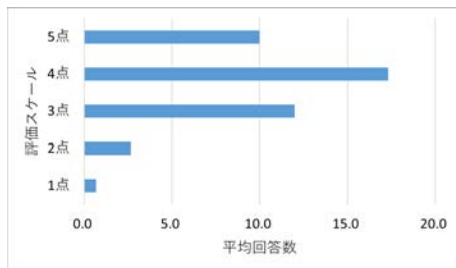
● 10月31日 (木)第4回「速報：緑の気候基金 (GCF) のREDDプラス成果支払いにかかる実施ルール」(JICA市ヶ谷ビル600号会議室)

参加者数：41名

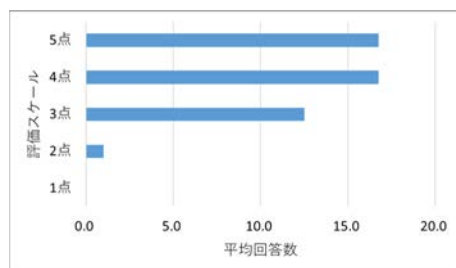
- 10月初旬のGCF理事会において決定された、REDDプラス成果支払いの実施ルールについて速報で報告
 - 林野庁 森林整備部計画課 海外林業協力室 大仲幸作 氏

参加者からの評価・主な意見

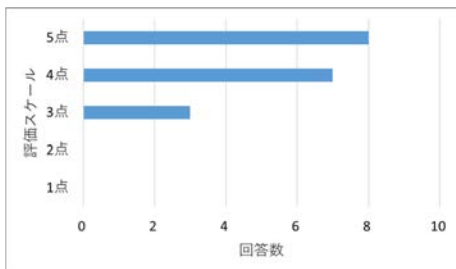
第1回 REDD+関連の国際動向 評価点平均：3.8 (回答者数=46)



第3回 GCFの取組みの進捗状況 評価点平均：4.0 (回答者数=52)



第4回 GCFの成果支払ルール 評価点平均：4.3 (回答者数=21)



主な意見 (○：良かった点、●：意見)

- 基本情報、最新情報、現場の状況を知ることができた
- 情報の整理ができた
- (参加者自身の) 予備知識が不足しているため理解できない
- 概略的であり、具体的情報が不足

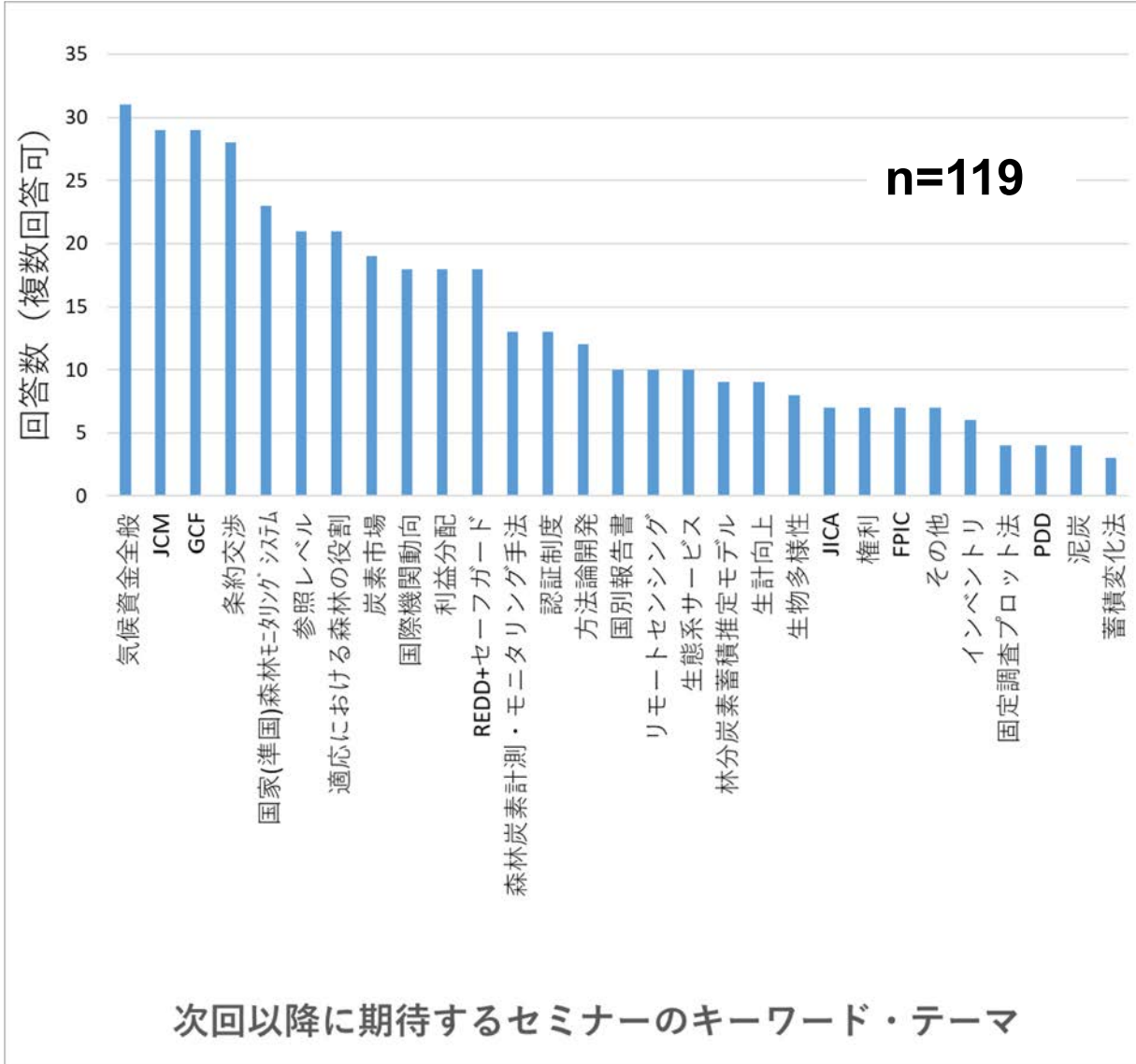
- GCFの基本情報、最新情報、全体像が分かった
- 事例紹介、JICAの役割や方向性が参考になった
- 難しい(関係者向け)、(参加者が) GCFをよく知らないため話が良く分からなかった
- 既に聞いたことがある。将来的な見通しが欲しかった

- わかりやすい、整理された内容
- 報告が早かった、ホットなトピックを聞くことができた
- 文書が未公開の中で、提供可能な情報を伝えていた

概ね好評だったが課題も：

「予備知識がないので難しい」という意見と「既知情報・情報不足のため物足りない」という真逆の意見が見られる

今後取り上げて欲しいテーマ



※今年度はGCFの議論に大きな動きがあったため、セミナーで複数回に分けて報告（参加者層偏り）

まとめと今後の対応

● 平成29年度ナレッジセミナーに対する評価は、概ね好評

- 基本情報・最新情報が得られた
- 情報の整理をすることができた
- 交渉の舞台裏や現場の様子を知ることができた

● ナレッジ分科会に対する要望と対応

- より詳細・専門的な知識を期待する参加者がいる一方で、概要・一般的な知識を望む参加者も少なくない
- ナレッジ分科会では引き続き詳細・専門的知識の提供を基本とするが、こうした意見に対応できるようREDD研究開発センターのウェブサイトのコンテンツなどの工夫で対応したい

● 今後のテーマについて

- 関心の高いテーマ（条約交渉、気候資金等）については、来年も引き続き注目
- 一方、その他のテーマについても交渉や各国における取り組みの進捗などを踏まえ、柔軟なテーマ設定も心がける